

大企業がテーマ提示、スタートアップ呼応 技術革新へ協業拠点 大商・大工大、梅田に まず大和ハウス参加

日本経済新聞 地域経済

2018年3月10日 2:19 [有料会員限定]

大阪商工会議所と大阪工業大学は4月、大阪・梅田に大企業がスタートアップ企業と連携して革新的な新製品を生み出すオープンイノベーションの拠点を設ける。異業種の交流を促して大企業の事業開発の支援やスタートアップ企業の育成につなげる。まずは大和ハウス工業が参画して協業先を探す。在阪企業に参加を呼びかけ、年3件の新規事業の創出を目指す。

大工大梅田キャンパス内のロボティクス&デザインセンターを活用し、大商と大工大による任意団体が運営する。技術競争が激しくなるなか、自前主義を捨てて外部と連携するオープンイノベーションを導入する企業が増えているが、商工会議所が拠点を手掛けるのは全国でも珍しい。大工大は学生や教員を大企業の課題解決に参画させることで産学連携の推進や起業家育成につなげる。

オープンイノベーション施設はスタートアップ企業が技術を公表し、関心を持った大企業が提携を持ちかけることが多い。大商・大工大の施設では、大企業が課題やテーマを提示し、参加するスタートアップ企業や学生とチームをつくって開発する。例えば、大和ハウスの場合、ロボットが生活を支援する未来の住宅などを開発する。

支援体制も整え、スタートアップ支援のクオインタム（東京・港）やダルマテックラボ（京都市）、日本総合研究所などが助言。日本ベンチャーキャピタルやクラウドファンディング仲介のマクアケ（東京・渋谷）などが資金調達、エディオンが販路開拓で支援する。有力なスタートアップ企業には大企業や大商が出資することを検討する。

拠点はレーザー加工機など最先端の機器を備え、試作品も作れる。ビジネスコンテストなどを開催して企業や起業家が集まりやすくする。利用料は大企業が年50万～300万円、中小企業が年5万円、スタートアップ企業や学生は無料で、幅広く利用を呼びかける。

大商は2019年度を最終年度とする3年間の中期計画「たんと繁盛大阪アクション」で、次世代ものづくりやサービス産業の振興を掲げている。スタートアップ企業の創業支援のほか、ドローン（小型無人機）など先端技術を使った実証実験にも取り組んでいる。

▼オープンイノベーション スタートアップ企業など外部のアイデアや技術を研究開発に生かす手法。異分野の先端技術を取り入れないと革新的な製品が生まれにくくなっていることが背景にある。

例えば、自動運転では自動車メーカーが人工知能（AI）を組み合わせた技術開発に取り組んでいる。関西ではダイキン工業など自社で拠点を持つ企業も出てきた。

大企業、テーマ提示

スタートアップ呼応

大商・大工大流オープンイノベーションの仕組み

事業化を支援

大和ハウス

スタートアップ企業

学生

販路を提供

エディオン

助言

クオタム

資金提供

日本ベンチャーキャピタル

大商

都市型のオープンイノベーション拠点が広がっている

大阪イノベーションハブ(大阪市北区)

大阪市の運営する。企業や起業家などが交流して産業の活性化を目指すための拠点

GVH#5(大阪市北区)

阪急電鉄が運営する起業家向けの会員制オフィス。イベントや勉強会も開催

The DECK(大阪市中央区)

スタートアップ企業のフィラメント(大阪市)など開設。オフィスや交流会の開催のほか、試作に活用できる

ビレッジ大阪(大阪市中央区)

スタートアップ企業のMJE(大阪市)が4月に開設を予定。レンタルオフィス、イベントスペースを設ける

神戸スタートアップオフィス(神戸市)

神戸市などが運営するスタートアップ企業向けの支援拠点

技術革新へ協業拠点

大商・大工大、梅田に

まず大和ハウス参加

大阪商工会議所と大阪工業大学は4月、大阪・梅田に大企業がスタートアップ企業と連携して革新的な新製品を生み出すオープンイノベーションの拠点を設ける。異業種の交流を促して大企業の事業開発の支援とスタートアップ企業の育成につなげる。まずは大和ハウスの工業系を軸に、年3件の新規事業の創出を目指す。

大工大梅田キャンパス内のロボティクス・デザインセンターを、大商と大工大に任意で運営する。技術拠点を設ける。異業種の交流を促して大企業の事業開発の支援とスタートアップ企業の育成につなげる。まずは大和ハウスの工業系を軸に、年3件の新規事業の創出を目指す。

大商・大工大、梅田に

は学生や教員を大企業の課題解決に参画させることで産業連携の推進と起業育成につなげる。オープンイノベーション拠点はスタートアップ企業や技術が公開し、関心を持った大企業が提携を持ちかけることが多く、大商・大工大の施設では、大企業が課題テーマを提示し、参加する

▼オープンイノベーション

スタートアップ企業など外部のアイデアや技術を開発に生かす手法。異分野の先端技術を取り入れ、革新的な製品を生み出すこと。例として、自動運転では自動車がAIが人工知能(AI)を組み合わせた技術開発に取り組んでいる。関西でタイクーンなど自社拠点を持つ企業も出ている。

拠点はレーザー加工機など最先端の機器を備え、試作品を作る。ピクセルコンテストなどを開催して企業や起業家が集まりやすくする。利用料は大企業が年50万、中小企業が年5万、スタートアップ企業や学生は無料で、幅広く利用を呼びかける。大商は2019年度を最終年度とする3年間の中期計画「たんと盛産大阪アクション」で、次世代ものづくりやサステナブル産業の振興を掲げている。スタートアップ企業との創業支援のほか、ドローン(小型無人機)など先端技術を使った実証実験にも取り組んでいる。

関連キーワード: 大商 大和ハウス工業 大阪工業大学 スタートアップ企業 大阪商工会議所

https://r.nikkei.com/article/DGKKZO27956110Z00C18A3LKB000?type=my#AAAUgzEyMDA

2/2